

【一番初めにご覧ください】「適格請求書(インボイス)」発行-最終チェック事項と注意点

適格請求書等保存方式（インボイス方式）に対応した請求書（納品書）を発行する為には、インボイス対応版のプログラム入替後に、マスタ設定の確認や発行オプションの設定が必要になります。「BIZTREK_BackOffice」では、下記を適格請求書として出力することが可能です。

- ・月締の「請求書」（請求書のみでインボイスする場合「明細式請求書」での出力が必要。「伝票合計式」は「納品書」と合わせてインボイスとする場合は対応可。「合計式」は不可。）
- ・「売上傳票」より出力する納品書・請求明細書（見積・受注伝票でも可）
- ・「支払明細書」より出力する月締の「支払明細書」（相手先(仕入先)の確認を受けたものに限る。発行が必要な取引先の場合に対応）

*2023年10月1日より施行されます「適格請求書等保存方式（インボイス方式）」に対応した請求書を出力するための基本設定の方法を説明します。
以下の設定をご確認の上、必ず印字テストを行なっていただきますようお願いいたします。

WEBサポートページについて

以下、弊社WEBサポートページにて、インボイス施行に伴う準備事項等を詳しくご説明させていただいております。合わせてご覧ください。

弊社ホームページ=>> <http://www.biztrek.jp/> にアクセス→ 右上「サポートページへ」をクリック→ 02.サポート→ 「2_BackOffice サポート」
・得意先マスタ「外税額通知」設定変更方法 ・適格返還請求書発行方法 ・適格修正インボイスの発行について 等

【共通事項】

1. インボイス対応版プログラムへの移行

今回、リリースしましたインボイス対応版（V2023(R1.2)、V2012(R3.2)、V2020(R3.2)）のいずれかのバージョンのプログラムへ移行が必要になります。

現在、ご使用のBIZTREK_BackOfficeバージョンをご確認いただき、プログラムの入れ替え（V2018以下のバージョンをご利用の場合はバージョンアップ）を行なってください。

*インボイス対応版のプログラムにつきましては、弊社ホームページのサポートページよりダウンロード可能です。

また、プログラム入替方法、旧バージョンからのバージョンアップ手順につきましても、WEBサイトにて操作方法をご覧ください。

詳しくは、別紙『BIZTREK_BackOfficeV2023(R1.2),V2021(R3.2),V2020(R3.2)インボイス対応版-リリースのご案内』をご参照ください。

2. 「事業者登録番号」を登録

適格請求書発行事業者として申請と登録が完了した後に設定します。既に事業者登録番号の通知を受けている場合は、その番号を登録します。

「自社1」メニュー => 「会社情報登録」を開き、「事業者登録番号」項目に半角14桁（ハイフンなしの「T」+13桁）を入力して保存します。

会社登録

フリガナ

自社名

郵便番号

住所1

住所2

電話番号

FAX番号

期首年月日 導入日(繰越翌日) 期末年月日

法人番号 事業者登録番号

3. 消費税端数調整設定 = 「端数処理は外税額と内税額を合わせて計算する」を「オン」に設定 + 伝票消費税設定見直し

「設定」メニュー => 「販売基本情報」 => 「消費税」をクリックします。

「端数調整は外税額と内税額を合わせて計算する」の設定が追加されました。

設定を「オン」に設定する事で、2023年10月1日より、導入される「適格請求書等保存方式」に対応した消費税計算方式にて、見積伝票、受注伝票、売上伝票、委託伝票、請求書、支払明細書の消費税計算を行います。(詳しいインボイス方式の消費税計算方法につきましてはWEBページを参照ください。また詳細は別紙「追加機能変更点(重要事項抜粋)参照。)

【設定時期 -重要-】

実際に設定するのは、以下のタイミングで行なってください。

1. 9月末の請求書発行後、9月の全ての締日の締日更新をかけます。

2023年9月末までの伝票登録及び請求書発行。9月の締日の締日更新は、現在の設定のままで行なってください。

2. 更新が完了した後、伝票日付2023年10月1日の伝票入力前に以下の設定を行ってください。

・「端数調整は外税額と内税額を合わせて計算する」 = 「オン」に設定

*伝票(請求書)で「外税」「内税」が混在しない場合でもインボイス開始時には必ず「オン」に設定します。

・伝票の消費税計算の設定(左画像-緑枠部分)も以下の設定になっていない場合は、同時に変更します。

A. 外税額通知が「請求書毎」の現金売伝票の外税計算 = 「A.伝票毎」に設定

B. 内税商品の明細行消費税計算 = 「B1.明細行毎の税込金額を元に計算」に設定

C. 内税商品の伝票消費税計算 = 「C1.伝票毎の税込合計を元に計算」に設定

- ・請求書発行直前に、前月の締日更新を行なっている場合、9月分(インボイス制度開始前)の締日更新は行なっています。10月分の請求書発行前に余分に締日更新処理を行わないようにしてください。
- ・設定を変更後に入力(変更)する伝票、請求書発行から計算方法が変わります。以前と金額が変わる場合がありますので、過去に遡っての再発行は行わないようにお願いします。
- ・9月中に先日付(2023年10月以降)の伝票入力はできるだけ避けてください。どうしても発行が必要な場合は、現在の消費税設定を記憶して、設定を変更します。10月の伝票入力が完了後、設定を元に戻してください。9月末までの請求書発行と、9月分の全ての締日の締日更新が完了した後、インボイス方式の設定に変更します。

4. 「外税額通知」設定の確認

「適格請求書等保存方式」に対応したインボイスを発行する為に得意先マスタに設定されている【外税額通知】の変更が必要な場合があります。運用に沿った設定を行ってください。

※「外税額通知」設定を変更される場合はマスタ変更のタイミングが重要です。=詳しくは、WEB サポートページ「得意先マスタの「外税額通知」変更方法と注意点」を参照ください

【月締の「請求書」を適格請求書(インボイス)としたい得意先の場合】

【外税額通知】設定は【請求書毎】に設定する必要があります。

*月締の請求期間で一括して消費税計算。

1つのインボイス(請求書)につき、税率毎に1回の端数処理を行う必要がある。

【売上伝票 = 「納品書」「請求明細書」を適格請求書(インボイス)としたい得意先の場合】

【外税額通知】設定は【伝票毎】に設定する必要があります。

*修正すると、適格請求書と認められない為「3.消費税端数調整設定」を行うと、各伝票の「外税」の手入力は不可となります。

*「見積」「受注」伝票も適格請求書として発行可能です。設定は同様になります。

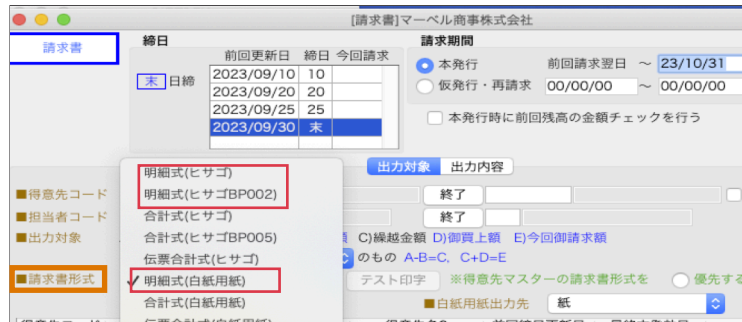
※注意※

【外税額通知】設定【伝票明細毎】の設定はインボイスでは使用できません。

得意先マスタの検索項目「外税額通知」 = 「伝票明細毎」で検索を行なっていただき、該当する得意先がありましたら、必ず「請求書毎」 or 「伝票毎」に変更が必要です。

【月締「請求書」を適格請求書として発行する場合の基本設定】

1. 「締日」メニュー⇒「請求書発行」を選択、月締請求書の発行画面を表示します。
2. 「出力対象」にて「**請求書発行形式**」 = 「**明細式（白紙用紙）**」「**明細式（ヒサゴ）**」「**明細式（BP002）**」のいずれかの形式に設定されているか確認します。

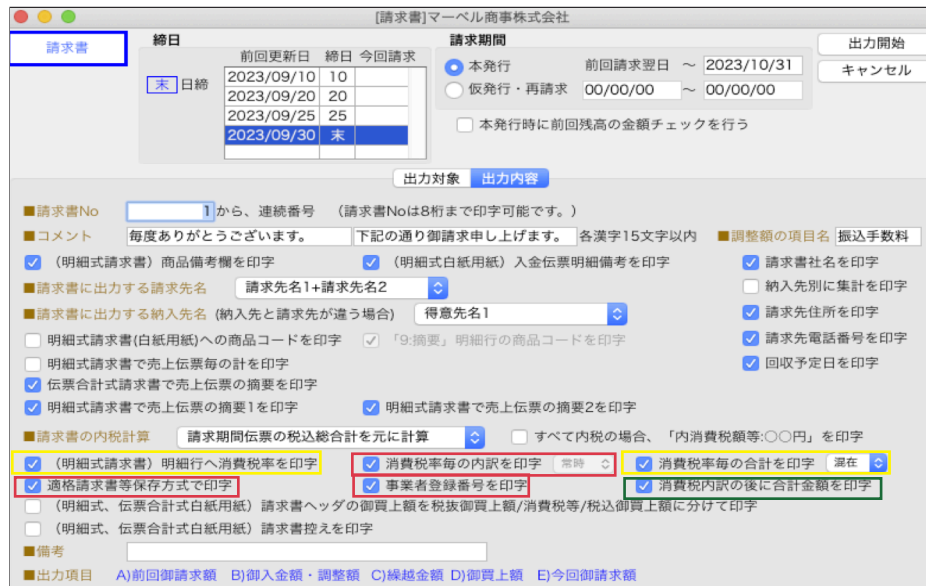


- * 「請求書」のみで適格請求書として発行される場合は、請求内容の詳細印字が必要になる為、「明細式」形式での発行が必須となります。
 - ・ 「納品書」 + 「請求書」と合わせてインボイスとする場合、相互の関連の明確化（伝票 No.等）が必要です。その為、「合計式請求書」はインボイスの要件を満たしません。「伝票合計式請求書」では、明細内に請求期間内の伝票番号の印字があります為、「納品書」と合わせてインボイスとすることは可能です。

3. 「出力内容」へ切り替えます。以下のオプション設定を「オン」にすることで「適格請求書」としての要件を満たした請求書の発行が行えます。

*以下の出力オプションは、最低限インボイスとして発行する為の設定となります。

その他の出力オプションにつきましては、貴社データでの伝票入力事項等で必要と思われる場合は、「オン」に設定してください。



■赤枠オプション...以下は必須設定です。必ず「オン」に設定します。

- ・「消費税率毎の内訳を印字」 - 「**常時**」を選択。
- ・「**適格請求書等保存方式で印字**」
- ・「**事業者登録番号を印字**」

■黄枠オプション...使用状況に応じて設定を「オン」にします。

- ・「(明細式請求書)明細行へ消費税率を印字」
請求明細に税率が混在する場合（標準 10%, 軽減 8%等）は必須設定です。
- ・「消費税率毎の合計を印字」 - 「**混在**」を選択。
請求明細内で「外税」「内税」が混在する場合は必須設定です。

* 「混在」を選択すると自動的に「消費税率毎の内訳を印字」 - 「**常時**」になります。
「通常」「混在」のオプションについて、詳しくは別紙（追加機能変更点）を参照ください。

■緑枠オプション...使用状況に応じて設定を「オン」にします。

- ・「**消費税内訳の後に合計金額を印字**」
以下、消費税内訳の最後に印字している「**税抜金額**」「**消費税等**」「**税込金額**」をこれまで通り印字したい場合は設定を「オン」にします。

消費税内訳		対象額	消費税	【合計】	
外税 10%		137,000	12,500		137,500
	税抜金額	125,000			
	消費税等	12,500			
	税込金額	137,500			

※上記、オプション設定が完了しましたら、必ずテスト印字をお願いします。

【「売上傳票」から発行する「納品書」・「請求明細書」を適格請求書として発行する場合の基本設定】

「掛商」メニュー⇒「売上傳票」を選択し、「発行形式」をクリックします。

以下のオプション設定を「オン」にすることで「適格請求書」としての要件を満たした「納品書」「請求明細書」の発行が行えます。（見積・受注伝票も同様です）

*以下の出力オプションは、最低限インボイスとして発行する為の設定となります。

その他の出力オプションにつきましては、貴社データでの伝票入力事項等で必要と思われる場合は、「オン」に設定してください。

納品書発行形式名	参照元発行形式	出力先
白紙用紙/縦		LP_S5300_31567D
白紙用紙/縦(2014)		LP_S5300_31567D
白紙用紙/縦-備考欄有		LP_S5300_31567D
白紙用紙/横		LP_S5300_31567D
白紙用紙/横(2014)		LP_S5300_31567D

【納品書発行形式】 白紙用紙/縦 出力先: LP_S5300_31567D

【固定摘要】 ドット印字左右マージン 0

摘要2を印字 自社名を印字 伝票番号を印字
 得意先電話番号を印字 得意先住所を印字 日付を印字
 商品コードを印字 '9:摘要' 明細の商品コードを印字
 すべて内税の場合「内消費税額等:〇〇円」を印字 前頁の繰越金額を印字(ヒサゴ480)
 担当者名を印字 得意先欄に直送先を印字 得意先コードを印字
 明細行に消費税率を印字 消費税率毎の内訳を印字 常時 消費税率毎の合計を印字 混在
 適格請求書等保存方式で印字 事業者登録番号を印字
 標準単価を印字 合計金額に¥をつける

伝票日付と請求日が違う場合
 請求日 伝票日付(請求日) (白紙、ヒサゴ、統一)

■赤枠オプション...以下は必須設定です。必ず「オン」に設定します。

- ・「消費税率毎の内訳を印字」 - 「常時」を選択。
- ・「適格請求書等保存方式で印字」
- ・「事業者登録番号を印字」

■黄枠オプション...使用状況に応じて設定を「オン」にします。

- ・「明細行に消費税率を印字」
伝票明細に税率が混在する場合(標準 10%, 軽減 8%等)は必須設定です。
- ・「消費税率毎の合計を印字」 - 「混在」を選択。

伝票明細内で「外税」「内税」が混在する場合は必須設定です。

*「混在」を選択すると自動的に「消費税率毎の内訳を印字」 - 「常時」が選択不可になります。

※上記、オプション設定が完了しましたら、必ずテスト印字をお願いします。

【「支払明細書」を適格請求書として発行する場合の基本設定】

*「支払明細書」を適格請求書とする場合は、相手先(仕入先)の確認を受けたものに限られます。発行が必要な取引先の場合に対応します。

1. 「設定」メニュー⇒「仕入先登録」から、相手仕入先のマスタを開き、仕入先の「事業者登録番号」を設定します。（「請求書区分」が「適格」に設定されているかも確認ください）
2. 「締日」メニュー⇒「支払明細書」を選択し、「出力内容」に切り替えます。

以下のオプション設定を「オン」にすることで「適格請求書」としての要件を満たした「支払明細書」の発行が行えます。

*以下の出力オプションは、最低限インボイスとして発行する為の設定となります。

その他の出力オプションにつきましては、貴社データでの伝票入力事項等で必要と思われる場合は、「オン」に設定してください。

支払明細書

締日
 前日更新日 締日 今回請求
 2023/09/10 10 済
 2023/09/20 20 済
 2023/09/30 未 済

支払期間
 本発行 前回請求翌日 ~ 2023/10/31
 仮発行・再発行 00/00/00 ~ 00/00/00
 本発行時に前回残高の金額チェックを行う

出力対象 出力内容

■支払明細書No 1 から、連続番号 (支払明細書Noは8桁まで印字可能です。)

■コメント 毎度ありがとうございます。 下記の通りお支払い申し上げます。各漢字15文字以内

商品備考欄を印字 支払伝票明細備考を印字
 明細行へ消費税率を印字 消費税率毎の内訳を印字 常時 消費税率毎の合計を印字 混在
 適格請求書等保存方式で印字 事業者登録番号を印字 消費税内訳の後に合計金額を印字
 備考 送付後、一定期間内に連絡がない場合、確認があったものとします

■赤枠オプション...以下は必須設定です。必ず「オン」に設定します。

- ・「消費税率毎の内訳を印字」 - 「常時」を選択。
- ・「適格請求書等保存方式で印字」
- ・「事業者登録番号を印字」
- ・「備考」 - 取引先の確認を受ける旨の文書を入力。
(例:送付後一定期間内に連絡が無い場合、確認があったものとします)

■黄枠オプション...使用状況に応じて設定を「オン」にします。

- ・「明細行へ消費税率を印字」..支払明細に税率が混在する場合-標準 10%, 軽減 8%等-は必須
- ・「消費税率毎の合計を印字」 - 「混在」を選択。..支払明細内で「外税」「内税」が混在する場合は必須設定です。

■緑枠オプション...使用状況に応じて設定を「オン」にします。

- ・「消費税内訳の後に合計金額を印字」(印字例は、請求書と同様です。前ページを参照ください)

※上記、オプション設定が完了しましたら、必ずテスト印字をお願いします。